

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス PLUSYOU SHIROKO		
○保護者評価実施期間	2025年11月13日		2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25家族	(回答者数) 22家族
○従業者評価実施期間	2025年11月13日		2025年11月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性を理解し、それに合わせた支援プログラムを実施できるように、個別対応を中心に療育しています。	マンツーマンで支援するため、社会性やコミュニケーションが取れるようにスタッフとの関係性を密にしながら、特性などに合わせた対応を意識しています。	利用時間の同じ児童がいれば、一緒に(小グループ)を作り、療育する機会を設定できるようにしています。
2	日常的なやりとりや困り感などに注目して、それぞれ担当している児童の様子を見ながら、個別に支援しています。	マナーやルールなどを知らせながら、社会性や基本的な生活習慣などが身につくように意識しています。 困り感などに関しては、個別対応なのでしっかり児童と会話することで思いや考えなども聞き取るようにしています。解決できるならば、参考になる意見を伝えています。	児童のその日の状態(身体面、精神面など)を見極めて、取り組み方を考えて、支援していくようにしています。
3	居心地の良い環境設定を心がけています。 トレーニングや気分転換を図れるように児童の意見を取り入れながら療育に活かしています。	仕切りを使いながら個別の空間設定を行っています。 個々に合わせたメニューを考えて、支援するようにしています。 児童の意見を聞きながら、児童主体でメニューを考えています。	過敏の児童がいる場合には、音などへの気配りを忘れないようしている。 声の大きさに注意できるようにポスターを掲示して、視覚支援で対応しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動する場がない。	それに対する利用者や保護者のニーズを調査できていないため、把握できていません。 個別対応しているため、利用時間にばらつきがあり、地域に出かけることが難しい状況である。	まずはニーズの調査をすることで把握していきたい。もしニーズがあれば、今後の検討課題としていきたい。
2	父母の会、保護者会、保護者同士の交流の機会などが開催できていない。	それに対する利用者や保護者のニーズを調査できていないため、把握できていません。 個別対応しているため、利用時間にばらつきがあり、一斉に開催する機会が難しい状況である。	まずはニーズの調査をすることで把握していきたい。もしニーズがあれば、今後の検討課題としていきたい。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていません。	保護者の送迎時に振り返りができる方には、お話をしています。 ペアレントトレーニングなどの研修や情報などがあればお知らせしたいと思います。	希望されるご家族があれば、対応できるように準備をしておく予定です。